

はじめまして、まつじゅんといいます。

この度は僕の自己紹介レポートに興味をもってください  
ありがとうございます。

このレポートでは、僕がいかに関「出会い」の  
重要性を理解して今に至ったのかについて話をしていこうと思います。

コミュ障で、あがり症、極度の人見知り。

彼女もなかなかできなくて、すごく青春時代  
苦しんでいました。

現在は営業職について毎日お客様と話をしています。

コミュニケーションが楽しいとさえ感じています。

でも、ほんの5年くらい前までは  
人前でしゃべることがとにかく嫌い。  
人前に出るだけで、緊張がすごくて  
頭が真っ白、しゃべれば何を言っているのか  
自分でもわからないような感じでした。

膝が震えるんですよ。  
ガクガク、ガクガクって  
見ている人には絶対伝わるんじゃないか？  
それが分かってしまったらいい笑われ者じゃないか。

しゃべっても声が小さいんです。  
絶対遠くの人には聞こえないんだらうって、  
(自分ではかなり出しているつもり)

飲み会で上司から

「声が小さかった。」と注意されるほど。

自信がないんです。

その表れです。

なんで自信がないかというと

中学生時代にこんなことを言われたことがあります。

「お前、さむいんだよ。」

そうです。会話してても面白くないんですよ。

どうやって笑いとればいいのか

分からないんです。

だから、突然話題振られても、  
普通のことを言うか、  
黙ってしまうかという状態になってしまいます。

だから、場がシラケる。。  
(ホワイトキックなんて言ってましたが。)

となると、会話自体がもうできなくなり、  
どんどんとしゃべらなくなるんです。

黙っておけば、リスクはない。  
存在感を消すようなことばかりしていました。

だから人と仲良くなるのが怖かったんです。

なぜなら、自分が面白くない人間だと分かって欲しく無かったから、  
最初から話すことが無ければ、分かることはない。

面白くない人間と分かってしまって

そういう目で見られるよりは、

関わりを持たないようにして

分からないようにしようというスタンスになりました。

人見知りになりました。

とにかく目立ってはダメだ。

そう言い聞かせていました。

そうなると、もう人が怖くて怖くて

たまらなくなるんです。

生活していく上で人と関わらなくて  
いいってなかなかできないんです。

中学、高校、大学時代は、ほんといけてない  
部類の人間になっていました。

クラスでもそれほど目立つ存在にはなく、  
根暗で話しかけられても一緒にいて面白い  
人間ではなかったと思います。

そんなやつなんで、当然ですが周囲の  
態度もあまりいい感じにはなりません。

要は舐められるんです。

あいつでしょ？

別になって感じです。

普段仲良くできないのだから

当然といえばそうですよね。

いけてる奴からすると、

こっちはたいした奴ではない。

CDを貸したことがあるんです。

貸したのはZARDのアルバムで、

自分がかかなり気に入っていたものでした。

貸した相手は学校では不良で権力があるタイプ。

貸してと言われたら、逆らえない。

で、貸したらなかなか返してもらえないんです。

返してというと、え？みたいな反応。

最終的に返してもらえましたが、

1年位かかりました。

それだけ、舐められてたんです。

あとから思うと、

「コミュニケーションができないと  
まじで人生損するなって。」

自分の意見が通らないし、  
周囲と仲良くできないから、  
どんどんと存在感がなくて、  
扱われ方にも影響でるなって。

大学生になり、地方から出て  
ひとり暮らしを始めました。

もう完全にひとりです。

僕にとっては、大学はまだ高校時代よりは  
ましな環境でした。

学校のクラスという閉鎖的な空間で  
過ごすことがないので、気を使う頻度が激減したんです。

それはストレスが大幅に減りました。  
そして、その頃彼女が欲しいと  
思うようになりました。

中学校、高校時代でも思っていたんですが、  
大学に入ったばかりの頃はそのテンションが  
すごく上がっていました。

この大学では俺のことを知っている人は  
どこにもいない。

自分を変えるぞー！

彼女作るぞー！

という気持ちでした。

でも工学部に入った私は同じ学科に  
女の子がたったの2人しかいませんでした。

うおー、男だらけやんけ！

「出会い」がない。。

決定的な要素です。

出会いはないというのは。

出会わなければ、彼女作れません。

どうやったって無理です。

私はどうにか出会いを作り出そうと

バイトを女の子が多そうなところという

基準で選ぶことにしました。(不純だ)

こんな理由でバイトを選ぶ自分を

どうかと思いましたが、

とにかくそのときは必至でした。

ある日バイト先を探しに自転車を走らせて

とあるファミリーレストランを見つけました。

一度店の中を見ると、ウェイトレスの  
女の子がすごくかわいく見えました。

「いらっしゃいませ～」

と制服を着て、お客様を席に案内していました。

この子と一緒に仕事できたらいいな。

そう思いました。

入口のドアにはバイト募集のチラシも貼ってありました。

電話番号を携帯電話に登録してコンビニで履歴書を買って家に帰りました。

電話して面接して受かり、バイトを始めました。

僕は厨房に入ることになったのですが、

ウェイトレスの女の子達とあまり接点がない仕事環境でした。

それでもたまにすれ違う機会があったりするのですが、

自分はどう会話すればいいのか分からずにいました。

結局、約3か月いましたが、

ほとんど会話できずに辞めることになりました。

出会いの場にはいたけど、会話できなかったわけです。

会話できなければ彼女ができないんです。

突然告白されるってケースもあるかもしれませんが、  
それってすごく稀ですよ。

人生でそんなことほとんどの人はいませんよ。

女性だってある程度この人と付き合ったら

楽しいかもって会話してから告白って段階に行きます。

いきなりはそうそうない。

大事なのは、「**出会い**」と「**会話**」だ。

とこのときすごく思ったのです。

大学2年生になったときに初めて合コンをしました。

3対3です。

たまたま高校時代の友人と連絡を取ってみたら、  
住んでいるのが近くだったので、誘われました。

最初は

「え？合コン？」

って感じでした。

でも僕は会話にはあいかわらず自信が無かったです。

でも、ここで遠慮してたら何も変わらない。。

そう思い、思い切って参加したのです。

当日先に席について待っていたのですが、

もう緊張が半端なかったのを覚えています。

本当に来るのかな？

合コンってどんな感じなんだ？

かわいい子きたら緊張すんな～

実際に席にきたときは

びっくりしました。

ほんとにきたー！

(まじですか？みたいなw)

相手は同じ大学で19歳、18歳2人の

合計3人でした。

友人がとにかくマシンガントークで  
場をずっと盛り上げてくれました。

女の子達は飽きずにずっと笑ってくれました。  
こんなに女の子って笑うんだ位(笑)

正直口下手な僕自信もただただ面白かったので  
全然緊張しないで会が終わりました。

その後にそのマシンガントークの友人は  
女の子の1人と付き合っていました。

聞いたときは、

え——————！??

い、いつのまに???

合コンすげーなって

思いました。

僕はというと何も無かったのですが、  
会話が上手なのはすごく得なんだなって思いました。

と同時に1度合コンに参加してみて  
少し緊張が溶けたような状態になり、  
また参加したいと思うようになりました。

合コンってすごいなと思うようになりました。

- ・初めましての男女がいきなり飲み会の席につける
- ・恋愛しようって気持ちがお互いにあることが多い（たいていは）
- ・自分が話下手でも友達が話せば負担が軽減される。
- ・連絡先を交換しやすい
- ・1対1に不安がある場合に有効
- ・お酒が入れば、多少はお酒の力も借りて盛り上がりやすい
- ・同性同士と仲良くなれる
- ・異性が苦手でも、異性と接する練習になる

・そもそも出会える

ってことで誘われるのを待つと

なかなか開催されないなので、自分が幹事をするようになりました。

正直女の子と会話するのだって

当時は全然できなかつたのですが、

彼女欲しいということで必死でした(笑)

当時、一人暮らししているアパートの隣に

大家さんが住んでいました。

娘さんがちょうど同じ年齢だったのです。

彼女はそんなにタイプの女性ではなくて（ごめんなさい）

だけど、人見知りしないタイプでよく話しかけてくれました。

ある日、家の近くであったときに

勇気を絞って行って見たんです！

「あ、あのさ。。

今度。

ご、ご、、ご、、うこんしない？」

こんなこと言ったらチャラいと思われるかも

しれないと内心思っていました。

見た目ではそんなことを言うタイプでは  
なくかなり真面目なオーラが出ている僕が  
合コンしようと誘っているんです。

正直、断られたり、  
引かれても当然だろうって覚悟もしていました。

すると、彼女は

「いいよ。お～、なんだかびっくりしたけど。」

という返事。

「え？いいの？ま、まじ？」

なんとOKの返事だったのです。

それからメールでやりとりしまくり、  
初の幹事での合コンを開催したのです。

その合コンの男メンバーは前回と  
変わって大学のサークルの友人でした。

来てくれた女の子は3人で  
大家の娘さん20歳、フリーター20歳、  
20歳の大学生、でした。

マシンガントークの彼はいないし、  
場を盛り上げられはしませんでした、  
それでも**共通**のバイトの話で盛り上がったのを覚えています。

僕「バイトで週5で働いててさ〜」

女の子「私も〜。どこで働いているの？」

僕「〇〇だよ。」

女の子「あそこってポップがかわいいよね。」

僕「あれ書いている人、実はバイトなんだよね。」

女の子「え〜。そうなんだ！すごいね〜。」

この会で思ったのは笑わせなければ

会話は必ずダメというわけではなくて、

**共通の話題で相手が興味あること**であれば、

それなりに楽しい時間も過ごせるということでした。

お笑い芸人のようなオチがなくても、  
相手が興味ある話題なら話が続き、  
女の子はその会話自体をすごく楽しんでいたということです。

例えば、相手の好きなアーティストや芸能人が  
いる場合、その話題だと会話は続くということです。

僕「俳優の〇〇って実は〇〇なんだよね。」

女の子「そうそう！あれびっくりしたよね。」

僕「そうだよね。今後どうなっちゃうんだろう。」

女の子「そうそう！あれびっくりしたよね。」

ってな感じでした。

そんな感じで初めての幹事の合コンは  
無事終了したのです。

そこでも特段その後はいいことは  
なかったのですが、明らかに僕の中では  
前より**出会いと会話**に慣れが生じていました。

その後も自分が幹事となる合コンを  
開くようになりました。

合コンではありませんでしたが、

知り合いの紹介から彼女ができました。

出会わなければ、彼女はできません。

そして会話できなければ、彼女もできにくいです。

社会人になって結婚するまで合コンを繰り返しました。

(実は現在はバツ1です)

ほぼ毎回私が幹事となり会を開催するようになりました。

そして、合コンと一緒にいったメンバーから

また行きたいので呼んでくれといつも言われるようになりました。

**出会いの数**をいかに増やすか。

また、**会話**をどうするかについて多くを学びました。

実は知っていれば誰だってできることだったんです。

それを知ってしまえば、彼女できるのは

そんなに難しいことではなく、むしろモテるようになれるんです。

メルマガでは無料でそれについてもっと濃い情報を発信しています。

合コン以外にも出会いのチャンスを多く作って、

思考錯誤していたのかをお伝えします。

出会いがなくて困っている、積極的な行動ができない、

コミュ障や自信がない、女の子が怖い、会話できない、

そんな方向けのメルマガです。

いつでも登録解除可能なので、

興味ある方は気軽にこちらのリンクからご登録を！

<メルマガ登録リンク>